

株式会社フジワケミカル

2023年度 環境経営レポート

(対象期間: 2023年9月1日～2023年11月30日)



作成日:	第1版	2023年12月28日
	第2版	2024年4月12日
	第3版	2024年4月17日

取組の対象組織・活動

□組織の概要

株式会社フジワケミカル

(1) 名称及び代表者名

株式会社フジワケミカル
代表取締役 藤井 徳充

(2) 所在地

本社 岐阜県安八郡安八町牧4521
工場 岐阜県安八郡安八町牧字南川4521-1

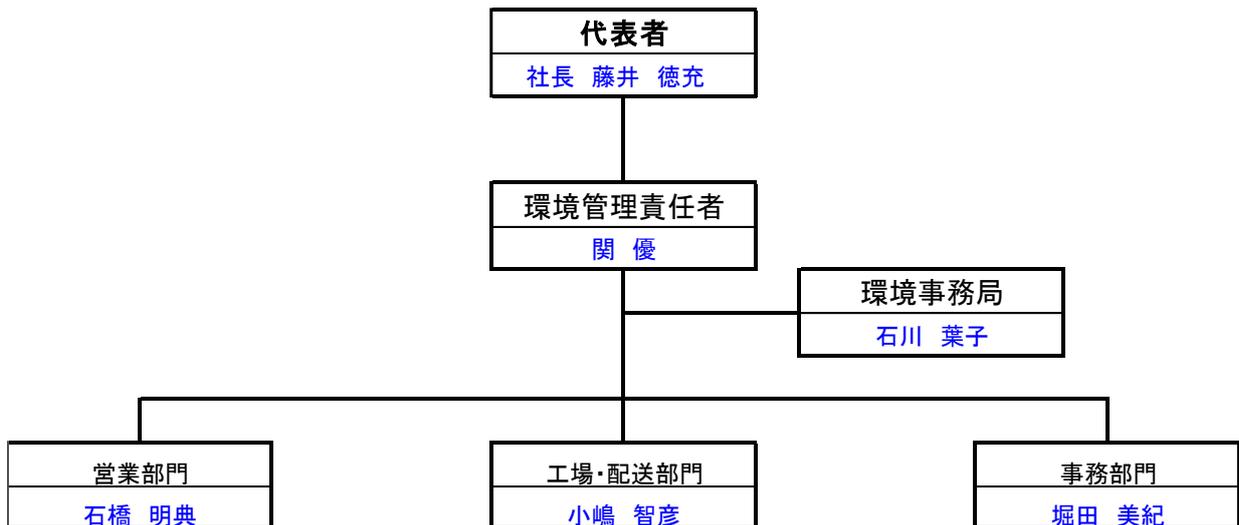
(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 工場長 関 優 TEL:0584-64-4815
担当者 事務員 石川 葉子 TEL:0584-64-4815

(4) <法人の概要>

名称	株式会社フジワケミカル
事務所・事業所の所在地	岐阜県安八郡安八町牧4521（工場 岐阜県安八郡安八町牧字南川4521-1）
設立年月日	令和4年1月26日
資本金・出資金	1,000万円
代表者	代表取締役 藤井 徳充
従業員数	12人
事業内容	◆産業廃棄物の総合コンサルタント ◆産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の収集運搬 ◆産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の再生・処理業 ◇工業薬品、溶剤の製造・販売
沿革	昭和25年4月 安八郡輪之内町大藪に富士和商事株式会社を設立する 資本金2,000,000円 昭和55年6月 大垣市横曾根にケミカル工場を新設する 令和4年1月 富士和商事株式会社のケミカル部門を分社し、 株式会社フジワケミカルを設立する 令和5年5月 産業廃棄物処分業の許可取得 令和5年8月 新会社の処分操業開始 令和5年8月 産業廃棄物収集運搬業の許可を取得 令和5年9月 新会社として収集運搬を開始

(5) 組織図【2023年11月現在】



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施体制の構築並びに必要な人、設備、費用、時間、技能及び技術者の準備 環境管理責任者を任命 経営における課題とチャンスの明確化 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境経営目標・環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直しを実施 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境経営目標・環境経営計画書を確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 試行・訓練を実施、記録の作成 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

(6) 事業

- ◇産業廃棄物の収集運搬・処分
- ◇工業薬品販売

<産業廃棄物処理業許可>

◎収集運搬業

産業廃棄物							
都道府県	岐阜県	愛知県	三重県	滋賀県	静岡県	長野県	
許可番号	02111233515	02300233515	02400233515	02501233515	02201233515	2009233515	
許可年月日	令和5年8月14日	令和5年8月17日	令和5年8月1日	令和5年8月30日	令和5年8月8日	令和5年7月6日	
許可期限	令和10年8月13日	令和10年8月16日	令和10年7月31日	令和10年8月29日	令和10年8月7日	令和10年7月10日	
廃油	○	○	○	○	○	○	
廃酸	○	○	○	○	○	○	
廃アルカリ	○	○	○	○	○	○	
汚泥	○	○	○	○	○	○	
廃プラスチック類	○	○	○	○	○	○	
紙くず	○	○	○	○	○	○	
木くず	○	○	○	○	○	○	
繊維くず	○	○	○	○	○	○	
ゴムくず	○	○	○	○	○	○	
金属くず	○	○	○	○	○	○	
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	○	○	○	○	○	○	
がれき類	○	○	○	○	○	○	
鋳さい	○						

特別管理産業廃棄物							
都道府県	岐阜県	愛知県	三重県	滋賀県	静岡県	長野県	京都府
許可番号	02161233515	02350233515	02450233515	02551233515	02251233515	2059233515	02650233515
許可年月日	令和5年8月14日	令和5年8月15日	令和5年8月1日	令和5年8月30日	令和5年8月8日	令和5年7月11日	令和5年9月19日
許可期限	令和10年8月13日	令和10年8月16日	令和10年7月31日	令和10年8月29日	令和10年8月7日	令和10年7月10日	令和10年9月18日
特定有害廃油	○	○	○	○	○	○	○
トリクロロエチレン	○	○	○	○	○	○	○
テトラクロロエチレン	○	○	○	○	○	○	○
ジクロロメタン	○	○	○	○	○	○	○
1,1,1-トリクロロエタン	○	○	○	○	○	○	○
1,4-ジオキサン	○						
引火性廃油	○	○	○	○	○	○	
腐食性廃酸	○	○	○	○	○	○	
腐食性廃アルカリ	○	○	○	○	○	○	
特定有害汚泥	○	○					
有機リン	○						
六価クロム	○	○					
トリクロロエチレン	○	○					
テトラクロロエチレン	○	○					
ジクロロメタン	○	○					
四塩化炭素	○	○					
1,2-ジクロロエタン	○	○					
1,1-ジクロロエチレン	○	○					
シス-1,2-ジクロロエチレン	○	○					
1,1,1-トリクロロエタン	○	○					
1,1,2-トリクロロエタン	○	○					
1,3-ジクロロプロペン	○						
チウラム	○						
シマジン	○						
チオベンカルブ	○						
ベンゼン	○	○					
1,4-ジオキサン	○						
ダイオキシン類	○						
カドミウム又はその化合物	○						
鉛又はその化合物	○						
砒素又はその化合物	○						
セレン又はその化合物	○						
シアン化合物	○	○					

◎処分業

産業廃棄物		特別管理産業廃棄物		
都道府県	岐阜県	都道府県	岐阜県	
許可番号	2121233515	許可番号	2171233515	
許可年月日	令和5年5月15日	許可年月日	令和5年5月15日	
許可期限	令和10年5月14日	許可期限	令和10年5月14日	
廃油	○	トリクロロエチレン	○	ジクロロメタン
		テトラクロロエチレン	○	1,1,1-トリクロロエタン

<積替保管施設>

所在地	面積	積替え保管を行う産業廃棄物の種類	積替えのための保管上限	備考（設備の概要等）
岐阜県安八郡安八町牧字南川4521-1	199m ²	産業廃棄物（廃油、汚泥、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック） 特別管理産業廃棄物（引火性廃油、腐食性廃酸、腐食性アルカリ）	29m ³	屋内 防爆仕様 漏洩防止ピット

<保管施設>

所在地	面積	保管を行う産業廃棄物の種類	保管上限	備考（設備）
岐阜県安八郡安八町牧宇南川4521-1	63.41㎡	特別管理産業廃棄物(トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、1,1,1-トリクロロエタン)	88.2㎡	屋根漏洩防止ピット

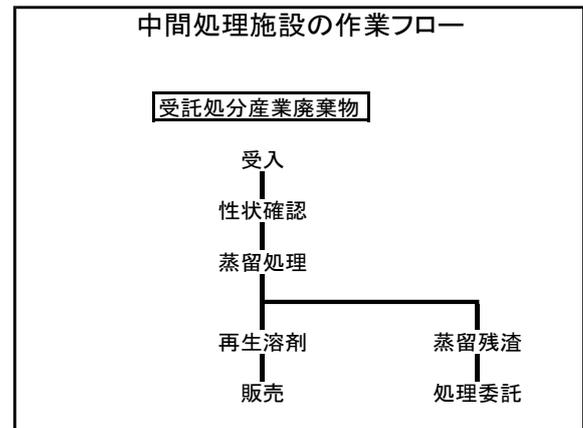
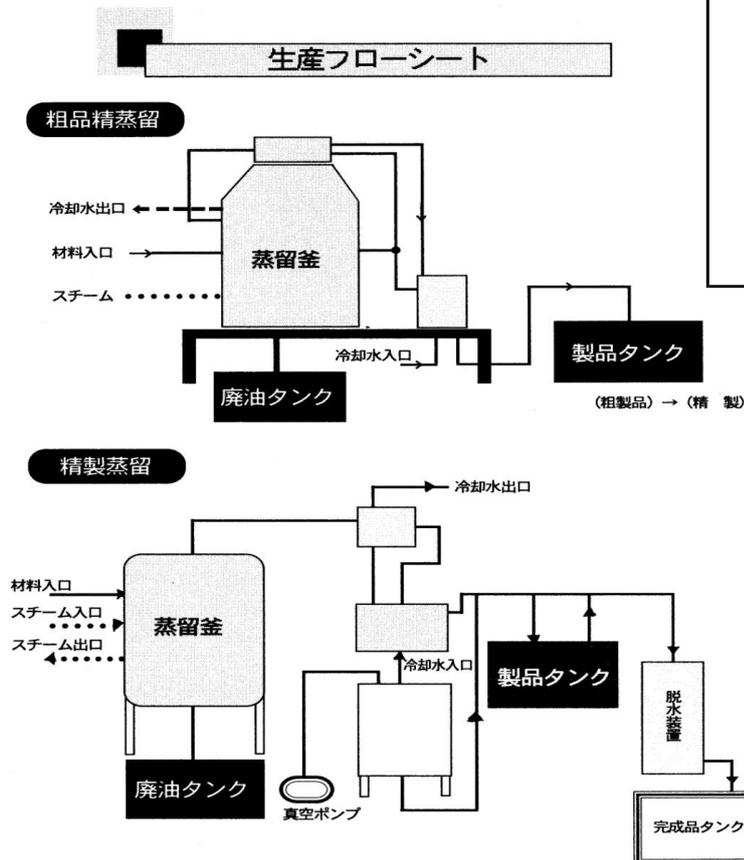
<産業廃棄物の処理施設>

設置場所	設置年月日	施設の種類の種類	産業廃棄物の種類	処理能力	処理方式	構造及び設備の概要	処理工程図
岐阜県安八郡安八町牧宇南川4521-1	平成18年1月16日	蒸留施設	産業廃棄物(廃油) 特別管理産業廃棄物(トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、1,1,1-トリクロロエタン)	8 m ³ /日 1 m ³ /時間	蒸留	・ 蒸留釜 (精製蒸留) ・ 冷却装置 (地下水冷却) ・ 製品タンク	次頁図のとおり

<廃棄物処理料金>

個別見積りによる

処理工程図



(5) 事業の規模

	従業員	延べ床面積
株式会社フジワケミカル・本社、工場	12人	2,284㎡
総従業員数	12人	

◇受託した産業廃棄物の処理量(2023/9/1～2023/11/30)

収集運搬量	8,075	kg
中間処理量	22,467	kg
うち再資源化等量	17,020	kg
最終処分量	-	kg
中間処理後の産廃の処分量	5,447	kg
中間処理後の産廃の再資源化等量	-	kg

(6) 事業年度 3月～2月

□認証・登録の対象組織・活動

以下の全組織・全活動を対象とする。

登録事業者名： 株式会社フジワケミカル

対象事業所： 本社
工場

活動： 産業廃棄物の収集運搬・中間処理、工業薬品販売

□主な環境負荷の実績

当社（株式会社フジワケミカル）の事業実績は、処分量が2023年8月から、収集運搬業が2023年9月からであり、2021年及び2022年の実績はない。

当社は富士和商事株式会社ケミカル部門がそのまま分社したもので、分社前後での事業規模に大きな変動がないことから、2021年度及び2022年度の負荷実績は富士和商事株式会社ケミカル部門の負荷実績を掲載した。

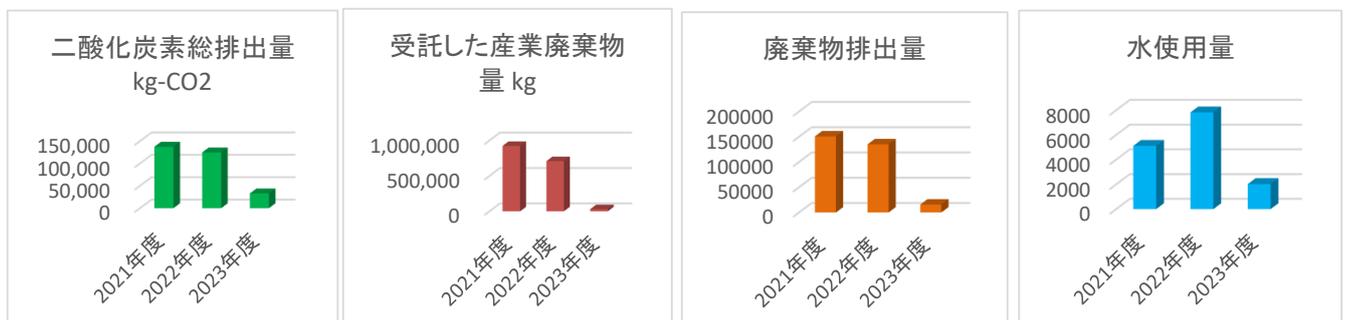
	単位	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	137,264	124,501	33,003
受託した産業廃棄物量	kg	923,670	708,709	30,542
収集運搬量	kg	439,300	365,347	8,075
中間処理量	kg	484,370	343,362	22,467
廃棄物排出量	kg	150,544	134,903	15,698
一般廃棄物量排出量	kg	64	1,032	256
産業廃棄物排出量	kg	150,480	133,871	15,442
水使用量	m ³	5,118	7,824	2,028

※電力の二酸化炭素排出量換算値

2021年度～2023年度

0.426 kg-CO₂/kWh

※2023年度は、2023年9月～2023年11月の負荷実績



株式会社フジワケミカル

環境経営方針

《環境経営方針》

私達は、素晴らしい地球に生まれたこと、そして、その地球に生かされていることに感謝をすると共に、地球に存在する自然や社会に関わる様々な環境を、未来に生きる子供たちのために健全な姿で伝えていかななくてはなりません。

当社の企業理念である「感謝の経営」が目指すものは、感謝の心に育まれた善なる働きによる、明るい未来の創造であり、自然環境や社会環境への貢献にあります。

環境破壊という自然を犠牲にした経済発展の仕組みを見直し、人と自然が共存する新たな企業活動を実践してまいります。

《行動指針》

I 具体的には、次のことに継続的に取り組みます。

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 二酸化炭素排出量の削減に取り組みます。
3. 受託した産業廃棄物の適正処理と再資源化を推進します。
4. 廃棄物の削減及び再生利用に取り組みます。
5. 水の効率的利用により使用量の削減に取り組みます。
6. 化学物質使用量の把握と適正管理に取り組みます。
7. 商品生産量における燃料の削減に取り組みます。
8. 地域での環境活動に取り組みます。

II この環境方針は全従業員に周知します。

制定日： 2023年8月1日

代表取締役

藤井 徳充

□環境経営目標とその実績

2022年度の実績を自己チェック等により把握し、その結果を基準値として、2023年度から2025年度までの目標を下記の通り設定し、2023年9月より環境活動に取り組んでいます。

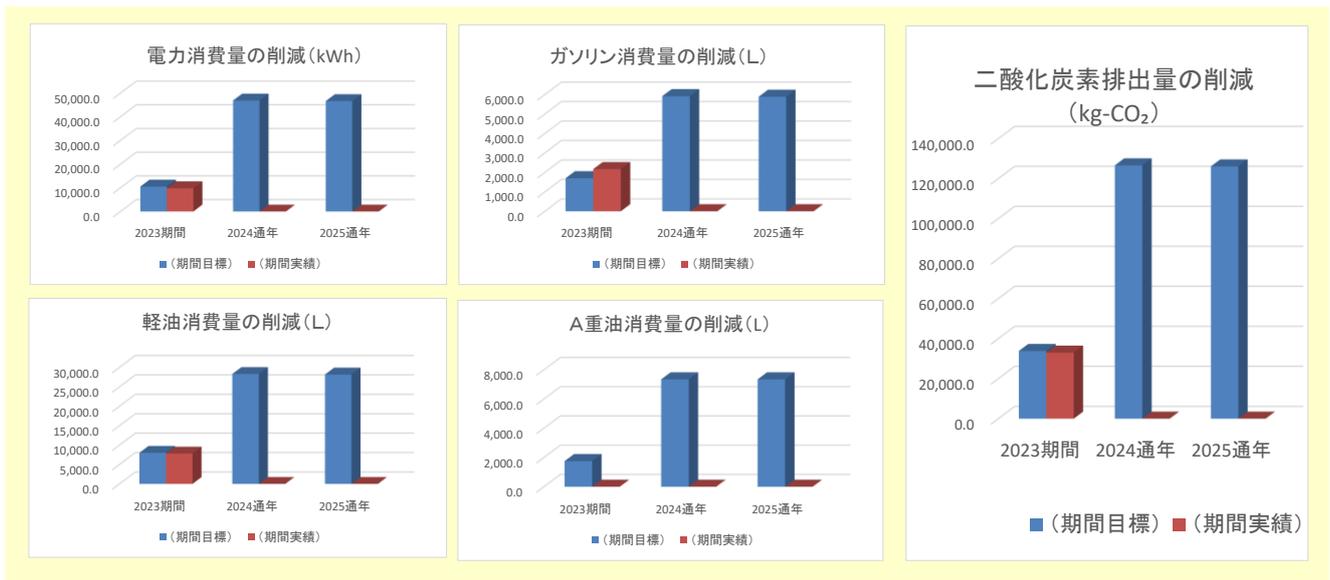
尚、このレポートでは、2023年9月から2023年11月までの運用実績について取りまとめました。

方針	取組項目	年度	単位	基準年	取組年		中間年度		最終年度			
				2022年度	2023年度		2024年度		2025年度			
				(実績)	通年	取組期間(9月~11月)	2024年3月~2025年2月		2025年3月~2026年2月			
CO2排出係数				(実績)	(目標)	(期間目標)	(期間実績)	(目標)	(実績)	(目標)	(実績)	
二酸化炭素排出量削減	電力の二酸化炭素排出量削減	電力消費量の削減	%		0.5%削減	0.5%削減	7.2%削減	1.0%削減	-	1.5%削減	-	
		消費量(kWh)		47,321.0	47,084.4	10,526.1	9,821.0	46,847.8	-	46,611.2	-	
		0.426 kg-CO ₂ /kWh	(kg-CO ₂)	20,158.7	20,058.0	4,484.1	4,183.7	19,957.2	-	19,856.4	-	
	自動車燃料の二酸化炭素排出量削減	ガソリン消費量の削減	%		0.5%削減	0.5%削減	-26.9%削減	1.0%削減	-	1.5%削減	-	
			消費量(L)		5,972.9	5,943.0	1,606.9	2,165.0	5,913.2	-	5,883.3	-
			2.92 kg-CO ₂ /L	(kg-CO ₂)	13,857.1	13,787.8	3,936.8	5,022.8	13,718.5	-	13,649.2	-
		軽油消費量の削減	%		0.5%削減	0.5%削減	2.8%削減	1.0%削減	-	1.5%削減	-	
			消費量(L)		28,598.7	28,455.7	8,008.2	7,826.6	28,312.7	-	28,169.7	-
			2.58 kg-CO ₂ /L	(kg-CO ₂)	73,784.6	73,415.6	20,661.2	20,192.6	73,046.7	-	72,677.8	-
	工場業務用燃料の二酸化炭素排出量削減	A重油消費量の削減	%		0.5%削減	0.5%削減	24.4%削減	0.5%削減	-	0.5%削減	-	
消費量(L)				7,380.0	7,343.1	1,751.2	1,330.0	7,343.1	-	7,343.1	-	
2.71 kg-CO ₂ /L			(kg-CO ₂)	19,999.8	19,899.8	4,745.8	3,604.3	19,899.8	-	19,899.8	-	
二酸化炭素排出量の削減		%		0.5%	0.5%	97.1%	0.9%	-	1.3%	-		
		(kg-CO ₂)	127,800.2	127,161.2	33,827.9	33,003.4	126,622.2	-	126,083.2	-		
受託した産業廃棄物の適正処理と再資源化	受託した産業廃棄物のリサイクル率の向上	%	-	75.0%以上	75.0%以上	75.8%	75.0%以上	-	75.0%以上	-		
	収集運搬車両の燃費向上	km ³ /ℓ	-	5.4 km/ℓ以上	5.4 km/ℓ以上	5.5km/ℓ	5.4 km/ℓ以上	-	5.4 km/ℓ以上	-		
廃棄物排出量削減	一般廃棄物の削減	%		0.5%削減		0.8%削減	1.0%削減	-	1.5%削減	-		
		排出量(kg)		1,032.0	1,026.8	256.7	256.0	1,021.7	-	1,016.5	-	
	産業廃棄物の削減	%		0.5%削減		55.6%削減	1.0%削減	-	1.5%削減	-		
		排出量(kg)		133,871.0	133,201.6	34,602.1	15,442.0	132,532.3	-	131,862.9	-	
水使用量削減	水使用量の削減	%		0.5%削減		2.6%削減	1.0%削減	-	1.5%削減	-		
		使用量(m ³)		8,052.0	8,011.7	2,071.6	2,028.0	7,971.5	-	7,931.2	-	
化学物質の把握と適正管理	化学物質の把握と適正管理	回/月	-	1回/月以上	1回/月以上	1.0回/月	1回/月以上	-	1回/月以上	-		
生産量に対する消費燃料の削減	生産量に対する消費燃料の削減	生産燃費(kg/ℓ)	-	10.0kg/ℓ以上	10.0kg/ℓ以上	12.8kg/ℓ	10.0kg/ℓ以上	-	10.0kg/ℓ以上	-		
地域での環境活動	地域での環境活動の取組	回/月	-	1回/月以上	1回/月以上	1.0回/月	1回/月以上	-	1回/月以上	-		

目標の説明や補足事項

- ・購入電力の排出係数は、0.426 kg-CO₂/kWh(中部電力ミライズ2019年度調整後排出係数)とする。
- ・当社(株式会社フジワケミカル)の事業実績は、処分量が2023年8月から、収集運搬業が2023年9月からであるが、当社は富士商事株式会社ケミカル部門がそのまま本社したもので、分社前後での事業規模に大きな変動がないことから、目標設定の基準を2022年度の富士商事株式会社ケミカル部門の負荷実績とした。
- ・「生産量に対する消費燃料の削減」の指標「生産燃費」は、次式により算出する。

$$\text{生産燃費 (kg/ℓ)} = \frac{\text{中間処理量中の再資源化量 (kg)}}{\text{再生処理施設の燃料消費量 (L)}}$$



□環境経営目標及び環境経営計画の取組結果と評価、次年度の環境経営目標及び環境経営計画

2023年度 (9月～11月) 「環境経営目標・環境経営計画」の達成・実施状況の評価						次年度				
環境経営目標項目				環境経営目標・環境経営計画の内容		期間達成・実施状況、評価				
方針	対象分野	具体的項目	担当部門							
二酸化炭素排出量削減	電力の二酸化炭素排出量削減	電力消費量の削減	関 優	環境経営目標	2022年度比 0.5 %削減する。	達成状況 7.2% 評価 ○ 売上換算 -	概ね目標達成 引き続き、電力削減を意識していく	環境経営目標	次年度の方向 強化	次年度目標 1.0%削減
				環境経営計画 (取組内容)	① 空調は必要な区域・時間に 限定使用、不使用の部屋は 停止 ② 照明は、昼休み等不必要な ものは消灯、使用頻度が低い 場所は使用時のみ点灯 空調の適温化(冷房28℃ 程度、暖房20℃程度)を徹底	取組状況 の評価 ○		環境経営計画	次年度の方向 取組内容番号 ① 継続 ② 継続 ③ 継続	
				環境経営目標	2022年度比 0.5 %削減する。	達成状況 -26.9% 評価 △ 売上換算 -		目標達成ならず 基準年より営業が 2名増えており、営業 車も増車した 為、目標達成に至 らなかった。 引き続き、エコド ライブを意識していく	環境経営目標	次年度の方向 強化
	自動車燃料の二酸化炭素排出量削減	ガソリン消費量の削減	関 優	環境経営目標	2022年度比 0.5 %削減する。	達成状況 -26.9% 評価 △ 売上換算 -	目標達成ならず 基準年より営業が 2名増えており、営業 車も増車した 為、目標達成に至 らなかった。 引き続き、エコド ライブを意識していく	環境経営目標	次年度の方向 強化	次年度目標 1.0%削減
				環境経営計画 (取組内容)	① エコドライブ等運転方法の 配慮を励行 ② タイヤの空気圧を定期的に 確認し、適正値を保つ ③ 不要積載物のチェック	取組状況 の評価 ○		環境経営計画	次年度の方向 取組内容番号 ① 継続 ② 継続 ③ 継続	
				環境経営目標	2022年度比 0.5 %削減する。	達成状況 2.8% 評価 ○ 売上換算 -		目標達成 エコドライブを意識 していく。	環境経営目標	次年度の方向 強化
軽油消費量の削減	関 優	環境経営目標	2022年度比 0.5 %削減する。	達成状況 2.8% 評価 ○ 売上換算 -	目標達成 エコドライブを意識 していく。	環境経営目標	次年度の方向 強化	次年度目標 1.0%削減		
		環境経営計画 (取組内容)	① エコドライブ等運転方法の 配慮を励行 ② タイヤの空気圧を定期的に 確認し、適正値を保つ ③ 不要積載物のチェック	取組状況 の評価 ◎		環境経営計画	次年度の方向 取組内容番号 ① 継続 ② 継続 ③ 継続			
		環境経営目標	2022年度比 0.5 %削減する。	達成状況 24.4% 評価 ○ 売上換算 -		目標達成 引き続き、燃料の 削減を意識してい く	環境経営目標	次年度の方向 維持	次年度目標 0.5%削減	
二酸化炭素削減業務用燃料の削減	関 優	環境経営目標	2022年度比 0.5 %削減する。	達成状況 24.4% 評価 ○ 売上換算 -	目標達成 引き続き、燃料の 削減を意識してい く	環境経営目標	次年度の方向 維持	次年度目標 0.5%削減		
		環境経営計画 (取組内容)	① 熱源機器の定期点検等適 正管理を実施	取組状況 の評価 ◎		環境経営計画	次年度の方向 取組内容番号 ① 継続			
		環境経営目標	75 %以上を維持す る。	達成状況 75.8% 評価 ○		目標達成 リサイクル率の向 上に努めていく	環境経営目標	次年度の方向 維持	次年度目標 75.0%以上	
受託した産業廃棄物のリサイクル率の向上	関 優	環境経営目標	75 %以上を維持す る。	達成状況 75.8% 評価 ○	目標達成 リサイクル率の向 上に努めていく	環境経営目標	次年度の方向 維持	次年度目標 75.0%以上		
		環境経営計画 (取組内容)	① 受託産業の計測・搬入管理 の徹底 ② 施設・設備の運転・維持管 理の徹底 ③ 事故時の対応マニュアル作 成と体制を整備 ④ リサイクル溶剤の販売促進	取組状況 の評価 ◎		環境経営計画	次年度の方向 取組内容番号 ① 継続 ② 継続 ③ 継続 ④ 継続			
		環境経営目標	5.4 km/ℓ以上を維持 する	達成状況 5.5km/ℓ 評価 ○		目標達成 引き続き、エコド ライブを意識してい く	環境経営目標	次年度の方向 維持	次年度目標 5.4 km/ℓ以上	
収集運搬車両の燃費向上	関 優	環境経営目標	5.4 km/ℓ以上を維持 する	達成状況 5.5km/ℓ 評価 ○	目標達成 引き続き、エコド ライブを意識してい く	環境経営目標	次年度の方向 維持	次年度目標 5.4 km/ℓ以上		
		環境経営計画 (取組内容)	① 収集の平準化、経路の選択 による運行時間・距離の短 縮 ② 受託・委託先の状況把握 し、適正な収集計画の立案 ③ エコドライブ等運転方法の 配慮を励行 ④ タイヤの空気圧を定期的に 確認し、適正値を保つ	取組状況 の評価 ◎		環境経営計画	次年度の方向 取組内容番号 ① 継続 ② 継続 ③ 継続 ④ 継続			
		環境経営目標	2022年度比 0.5 %削減する。	達成状況 0.8% 評価 ○ 売上換算 -		目標達成 引き続き、ゴミの削 減を意識していく	環境経営目標	次年度の方向 強化	次年度目標 1.0%削減	
一般廃棄物の削減	関 優	環境経営目標	2022年度比 0.5 %削減する。	達成状況 0.8% 評価 ○ 売上換算 -	目標達成 引き続き、ゴミの削 減を意識していく	環境経営目標	次年度の方向 強化	次年度目標 1.0%削減		
		環境経営計画 (取組内容)	① 使い捨て製品の使用・購入 の抑制 ② ごみの分別を徹底 ③ 5S活動の取組	取組状況 の評価 ○		環境経営計画	次年度の方向 取組内容番号 ① 継続 ② 継続 ③ 継続 ④ 継続			
		環境経営目標	2022年度比 0.5 %削減する。	達成状況 0.8% 評価 ○ 売上換算 -		目標達成 引き続き、ゴミの削 減を意識していく	環境経営目標	次年度の方向 強化	次年度目標 1.0%削減	
廃棄物排	関 優	環境経営目標	2022年度比 0.5 %削減する。	達成状況 0.8% 評価 ○ 売上換算 -	目標達成 引き続き、ゴミの削 減を意識していく	環境経営目標	次年度の方向 強化	次年度目標 1.0%削減		
		環境経営計画 (取組内容)	① 使い捨て製品の使用・購入 の抑制 ② ごみの分別を徹底 ③ 5S活動の取組	取組状況 の評価 ○		環境経営計画	次年度の方向 取組内容番号 ① 継続 ② 継続 ③ 継続 ④ 継続			
		環境経営目標	2022年度比 0.5 %削減する。	達成状況 0.8% 評価 ○ 売上換算 -		目標達成 引き続き、ゴミの削 減を意識していく	環境経営目標	次年度の方向 強化	次年度目標 1.0%削減	

2023年度 (9月～11月) 「環境経営目標・環境経営計画」の達成・実施状況の評価						次年度					
環境経営目標項目			環境経営目標・環境経営計画の内容		期間達成・実施状況、評価						
方針	対象分野	具体的項目	担当部門	環境経営目標	2022年度比	達成状況	55.6%	目標達成 引き続き、産業廃 棄物の削減を意識 していく	環境経営目標	次年度の方向	次年度目標
出量削減	産業廃棄物の削減	関優	環境経営計画 (取組内容)	環境経営目標	0.5 %削減する。	達成状況	55.6%	目標達成 引き続き、産業廃 棄物の削減を意識 していく	環境経営目標	強化	1.0 %削減
				① 収集運搬業者、中間処理業者と個別に委託契約	取組状況の評価	◎	取組内容番号		次年度の方向		
水使用量削減	水使用量の削減	関優	環境経営計画 (取組内容)	環境経営目標	0.5 %削減する。	達成状況	2.6%	目標達成 引き続き水の削減 に努めていく	環境経営目標	強化	1.0 %削減
				① 手洗い時、洗い物においては、日常的に節水を励行	取組状況の評価	◎	取組内容番号		次年度の方向		
化学物質の把握と適正管理	化学物質の把握と適正管理	関優	環境経営計画 (取組内容)	環境経営目標	1.0 回/月以上点検する。	達成状況	1.0回	目標達成	環境経営目標	維持	1回/月以上
				① 燃料油や溶剤等の揮発の防止	取組状況の評価	◎	取組内容番号		次年度の方向		
生産量に対する消費燃料の削減	生産量に対する消費燃料の削減	関優	環境経営計画 (取組内容)	環境経営目標	10.0 kg/L以上を維持する	達成状況	12.8%	目標達成	環境経営目標	維持	10.0 %以上
				① 施設・設備の運転・維持管理の徹底	取組状況の評価	◎	取組内容番号		次年度の方向		
地域での環境活動	地域での環境活動の取組	関優	環境経営計画 (取組内容)	環境経営目標	1.0 回/月以上活動する。	達成状況	1.0回	目標達成	環境経営目標	維持	1回/月以上
				① 工場周辺の清掃活動	取組状況の評価	◎	取組内容番号		次年度の方向		

項目等の説明

環境経営目標の設定:	当社(株式会社フジケミカル)の事業実績は、処分業が2023年8月から、収集運搬業が2023年9月からであるが、当社は富士和商事株式会社ケミカル部門がそのまま分社したもので、分社前後での事業規模に大きな変動がないことから、目標設定の基準を2022年度の富士和商事株式会社ケミカル部門の負荷実績とした。
環境経営目標:	達成状況: 期間トータルでの削減率等であり、目標値と比較し、達成状況を確認する。 評価: ○:目標達成。△:目標値の1.5倍値を達成。×:目標値及び1.5倍値を未達成。 売上換算: 年間トータルの負荷実績を、基準年との売上高比で換算して目標値と比較し、達成状況の評価する。 取組期間が3ヶ月であり、今回は評価を実施しない。
環境経営計画(取組内容):	各月の取組評価の内、期間で最も多かった「評価(◎・○・△・×)」を「期間取組評価」とし、同数の場合は、上位の「評価」とする。
次年度:	環境経営目標: 次年度の方向として、「強化」、「維持」、「見直し」、「暫定」から選び、その次年度目標値を記載する 環境経営計画: それぞれの「取組内容」について、次年度の方向として、「継続」、「強化」、「変更」、「終了」、「新規」から選び、「新規」については、下欄に番号及び内容を追記する。

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物(金属くず、廃プラ、廃ガラス、廃油等)、産業廃棄物の収集運搬・処分
水質汚濁防止法	トリクロロエチレン等蒸留施設
フロン排出抑制法	エアコン簡易点検の実施
労働安全衛生法	廃溶剤再生(産廃中間処理)
有機溶剤予防規則	廃溶剤再生(産廃中間処理)
特定化学物質障害予防規則	廃溶剤再生(産廃中間処理)
毒物・劇物取締法	工業薬品販売
化審法	トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン再生販売

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありませんでした。

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日 2023年12月18日

[環境経営目標の達成状況] [環境経営計画実施状況]

評価結果及び指示内容:

2023年9月より運用を開始した。前年度は分社化前の実績となるが、比較しても「環境活動」については良好な取り組みができたものと判断できる。

一方、実績の目標値の達成状況は、「ガソリン消費量の削減」が目標未達となった。これは、分社化に伴い、新規開拓を強化する為、営業の人員を増員し取組を行っており、それに伴い、営業車を2台増車したことによる使用量の増加と考えられる。

「問題点呈正書」の通り、2023年度の通年の実績を「基準値」として見直しをするよう指示した。

[環境経営システムの実施体制等]

評価結果及び指示内容:

環境経営システムを全員で理解して、活動に生かす

[環境関連法規等の遵守状況]

評価結果及び指示内容:

今後も法規制等を遵守する

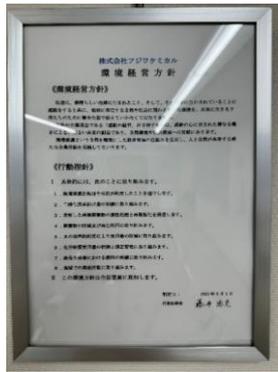
[利害関係者の苦情・要望事項]

評価結果及び指示内容:

苦情・要望事項が発生した場合は、速やかに対処する

環境経営方針の変更の必要性	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
環境経営目標の変更の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
環境経営計画の変更の必要性	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
実施体制の変更の必要性	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

環境活動の紹介



事業所に掲げられた「環境方針」



ケミカル工場のリフトをガソリン車からEVへ

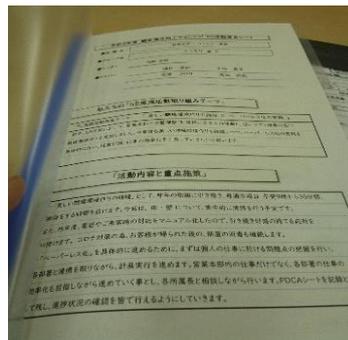


月に一度、地域清掃をおこないます

5S活動



「歩車分離ゾーン塗装」



「5S活動宣言書」



「廃棄物保管場所の整理整頓」



分析室にガスクロマトグラフを設置し、受託産廃の組成確認及び再生溶剤の品質確認の分析を行います。